

先生方が、「授業チェック表」と「手立て一覧表（具体例）」を用いて授業改善に取り組む授業改善のプロセスにおける手順①から手順④までの流れを紹介します。



手順 ①

(ア) 「授業チェック表」を用いて、授業改善を図る場面を焦点化する。



「授業チェック表」を用いて、今日の授業の6つの場面についてできていることにチェック（■）をしてみよう。チェック（■）ができない場面があったら、その場面から授業改善に取り組もう。一度にたくさんのことに取り組むのではなく、段階的に取り組んでいくことにしよう。



主につかむ段階では、★授業で必要となる前時までの学習内容を復習したり、本時の課題を知ったりする活動では、興味・関心をもたせたり、既習事項と関連付けることが今日の授業ではできていたから2つチェック（■）しよう。

【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】では、個人で考える時間を取り、自分の考えをしっかり持たせてからグループ活動を行うことができたから、1つ目にチェック（■）しよう。ただ、生徒は数学的な表現を用いていたかな？ 気になるから、この活動から授業改善を図っていこう。



★授業で必要となる前時までの学習内容を復習したり、本時の課題を知ったりする活動 (主につかむ段階)	
<input checked="" type="checkbox"/>	興味・関心をもつことができるような課題に取り組ませていますか。
<input checked="" type="checkbox"/>	これまで学習した内容と関連付けた課題に取り組ませていますか。
<input type="checkbox"/>	統合的・発展的に考えることができるような課題に取り組ませていますか。
【ア 成り立つ事柄を予想する活動】(主に見通す段階)	
<input checked="" type="checkbox"/>	課題について、分かっていること、分からないこと、何を求めなければならないかを確認させていますか。
<input checked="" type="checkbox"/>	課題を解決するために、これまで学習した内容の中から何が利用できるのかを考えさせていますか。
<input checked="" type="checkbox"/>	課題の解決方法の見通しをもたせていますか。
【イ 観察・操作などの具体的な活動】(主に見通す段階、練り合う段階)	
<input checked="" type="checkbox"/>	解決に向けての見通しをもたせ、粘り強く取り組ませていますか。
<input type="checkbox"/>	図形や数量などの性質を、具体的な操作活動を通して見いだすことができるようにしていますか。
<input checked="" type="checkbox"/>	これまでに学習した内容を基に、課題の解決に取り組ませていますか。
【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】(主に練り合う段階、深める段階)	
<input checked="" type="checkbox"/>	自分の考えをもって、説明することができるようにしていますか。
<input type="checkbox"/>	目的に応じて、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明することができるようにしていますか。
<input type="checkbox"/>	多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決することができるようにしていますか。

手順 ②

生徒の実態から、教師の課題を把握する。



これまでは、個人で考える時間を確保した後に、生徒たちにグループで説明する活動をさせると、生徒たちは必要な説明を始めると思っていたけど、そうじゃなかったみたいだな。生徒たちに何をどう用いて説明するのか示すと、説明し合う活動に取り組む生徒の様子が違うみたいだ。

手順 ③

「手立て一覧表（具体例）」を参考にしながら、生徒の実態、教師の課題から、授業で取り入れる手立てを考える。



【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】について、「手立て一覧表（具体例）」を参考にしながら手立てを考えよう。左側にチェックができるようになっているから、上段の3つの□にチェック（■）し、【手立て】の中でできているものには○を付けよう。

【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する段階】

- 自分の考えをもって、説明することができるようにしていますか。
- 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明できるようにしていますか。
- 多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決できるようにしていますか。

【手立て】

- ウ① ペアやグループ活動で、自分の考えを相手に伝えることができるようにしていますか。
- ウ② 解決した答えが、正しいかどうかを確認できるようにしていますか。
- ウ③ 話し合う目的や必然性をもたせる。
- ウ④ 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明できるようにしていますか。
- ウ⑤ 図、式、言葉を関連付け、簡潔・明瞭・的確に説明できるようにしていますか。
- ウ⑥ 自分の考えを持たせた上で、ペアやグループで活動する時間を設定できるようにしていますか。
- ウ⑦ 数学的な表現を用いて説明できるように、具体例を示す。
- ウ⑧ 他者の説明で分かりやすい説明は、自分の説明に書き加えさせる。
- ウ⑨ 他者の考えと自分の考えを比較して、同じ考えや違う考えを確認できるようにしていますか。

【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】の【手立て】のなかでも○がつかず、空欄になっているものがあるな。ウ④「言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明させる」、ウ⑦「数学的な表現を用いて説明できるように、具体例を示す」は空欄で、取り組んでいないな。何のために話し合っているのかははっきりさせ、生徒にどのような表現を用いるとよいか、例を示すことが大切だな。





ウ④「言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明させる」とウ⑦「数学的な表現を用いて説明できるように、具体例を示す」では、グループで説明させる前に、どのような言葉（キーワード）を用いて、どのように伝えればよいか説明する時間を設定するようにしよう。

手立てを取り入れた授業実践

手順 ④

授業で取り入れた手立てについて、「授業チェック表」と「手立て一覧表（具体例）」を基に振り返る。

【手立て】	
<input type="radio"/>	ウ① ペアやグループ活動で
<input type="radio"/>	ウ② 解決した答えが、正し
<input type="radio"/>	ウ③ 話し合う目的や必然性
<input type="radio"/>	ウ④ 言葉や数、式、図、表 る。
<input type="radio"/>	ウ⑤ 図、式、言葉を用いて
<input type="radio"/>	ウ⑥ 自分の考えを持ちせた る。
<input type="radio"/>	ウ⑦ 数学的な表現を用いて
<input type="radio"/>	ウ⑧ 他者の説明で分かりや
<input type="radio"/>	ウ⑨ 他者の考えと自分の考 る。

やった！

今回の授業では、ふだんは、人の説明を聞いてばかりだった生徒も、自分の言葉で説明することができていたぞ。多くの生徒が、キーワードを用いて、例を参考に説明することができていたな。

ウ④「言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明させる」とウ⑦「数学的な表現を用いて説明できるように、具体例を示す」に取り組んだら、生徒の姿が変わった。ウ④とウ⑦に○を付けよう。今後も継続して、この手立てに取り組んでいこう。



POINT

手立てについて振り返る際には、手立てを取り入れたことで、生徒に期待される変容が見られたのかどうか、生徒の実態を基に判断することが大切です。

★授業で必要となる前時までの学習内容を復習したり、本時の課題を知ったりする活動
(主につかむ段階)

■ 興味・関心をもつことができるような課題に取り組ませていますか。

■ これまで学習した内容と関連付けた課題に取り組ませていますか。

□ 統合的・発展的に考えることができるような課題に取り組ませていますか。

【ア 成り立つ事柄を予想する活動】(主に見通す段階)

■ 課題について、分かっていること、分からないこと、何を求めなければならないかを確認させていますか。

■ 課題を解決するために、これまで学習した内容の中から何が利用できるのかを考
せていますか。

■ 課題の解決方法の見通しをもたせていますか。

【イ 観察・操作などの具体的な活動】(主に見通す段階、練り合う段階)

■ 解決に向けての見通しをもたせ、粘り強く取り組ませていますか。

□ 図形や数量などの性質を、具体的な操作活動を通して見だすことができるようにし
ていますか。

■ これまでに学習した内容を基に、課題の解決に取り組ませていますか。

【ウ 自分の考えを人に伝える活動・人の考えを理解する活動】(主に練り合う段階、深める段階)

■ 自分の考えをもって、説明することができるようにしていますか。

■ 目的に、言葉、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて説明するこ
とができるようにしていますか。

□ 多様な考えに触れさせ、よりよい方法で課題を解決することができるようにしていま
すか。

次は、【手立て】ウ⑤「図、式、言葉を関連付け、簡潔・明瞭・的確に説明させる」にも取り組もう。生徒が、はっきり分かりやすい表現で説明できるようになるはずだ。

また、「授業チェック表」の自己評価では、ウの2つ目をチェック(■)することができたぞ。生徒の説明する姿も確実に変わってきたぞ。焦らずに、この調子で段階的に授業改善に取り組んでいこう。

